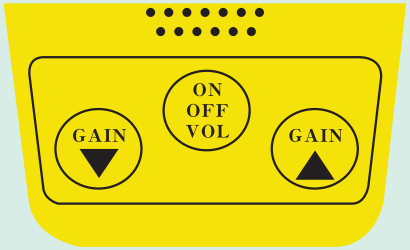
取扱説明書　マグネチックロケータ GA-1

＜ キー操作　機能 ＞

＜電源スイッチ＞
＜スピーカ音量調整＞



ON/OFF ＜電源スイッチ＞

このボタンを押すことにより電源の ON/OFF ができます。

VOL ＜スピーカ音量調整＞

このボタンを押し続けることによって連続的に音量が小さいレベルから大きなレベルに変化し、最大に達すると小さいレベルに戻るようになっています。適当なレベルになったらボタンを離して下さい。

＜ 感度調整 ＞

"▼" ボタンを押すと感度が下がり "▲" ボタンを押すと感度が上がります。

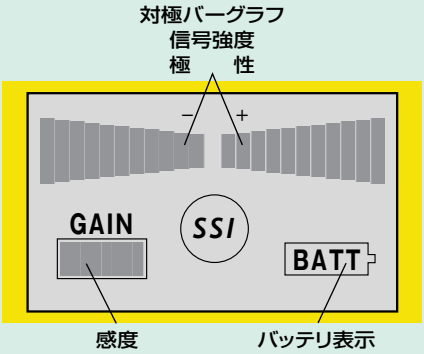
＜ マイクロプロセッサー採用 ＞

感度と音量の設定は電源を切ってもメモリに保存され、再び電源を入れた時は保存された設定で操作が開始できます。

＜ 使用電池 ＞

電源部の底のネジを外します。"9-V アルカリ電池" が2本使用されています。
操作ができなくなったり警告音が鳴った場合は新しい電池と交換して下さい。

＜ 液晶ディスプレイ ＞



＜信号強度と極性＞

"信号強度" と "極性" は対極バーグラフで表示されます。最初はバー中央に短く表示され、信号が強くなるとバーの数が増えて表示されます。"極性" は発生磁界が "＋側S極" または "ー側N極" のどちら側にあるかによりバーが表示されます。

＜感　　度＞

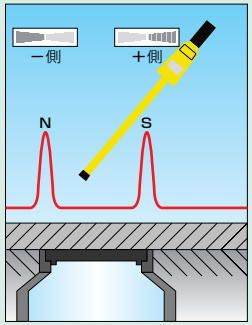
"▼" または "▲" ボタンで感度調整を行い、レベルに応じバー表示 "GAIN" が変化します。

＜バッテリ表示＞

電圧が低下すると表示されます。電池交換時に近づくとLCDの右下に "点滅" 表示されます。"点滅" が "連続表示" に変わったら直ちに電源を切り電池を交換して下さい。

"極性探知機能" の活用

"極性探知機能" により、フェンスに近接して埋め込んだマーカー、また "鉄管パイプ接合部" を探知することができます。マーカー上または鉄管パイプ接合部（溶接でも可）の上を移動することにより位置が探知できます。



極性の判別

極性（N極ー側・S極＋側）の判別ができるので埋没している金属物体の大きさの探知が可能です。

＜ 探知方法 ＞

GA-1本体を手前に持ち前後に揺らしながらゆっくり歩きます。探査物が小型のもの、あるいは深く埋設されている場合は感度を上げ出来るだけゆっくり歩くようにします。通常は感度も中間レベル（"GAIN" バー目盛が３個表示）に設定し普通の歩き方で探査可能です。
腕時計、大型の金属ベルトバックルまたは金属製の靴底等を着用し、感度を上げすぎると探査性能に影響がでます。

＜ 操作方法 ＞

1. ON/OFFボタンを押し電源を入れます。
2. ON/OFFボタンを押し続け音量を調整し、適当なレベルになったらボタンを離します。
3. "▼" または "▲" ボタンで感度調整を行い、レベルに応じバー表示 "GAIN" が変化します。ボタンを一回押すことによりバーが 1 目盛変化します。

＜ 機　　能 ＞

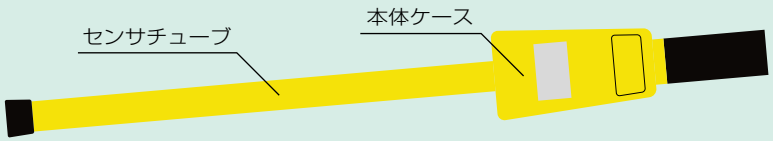
- キーパッドは "クリックタイプ" を採用しておりボタン操作が確実に行えます。
- 内蔵マイクロプロセッサーが音量及び感度の設定を記憶するため、電源を切り再び電源を入れた時は最終の設定状態で探査を開始できます。（"電池交換" の項目もお読み下さい）。
- 感度 "GAIN" 設定は８段階で設定できますが、通常は "GAIN" バー目盛が３個表示される設定から探査を開始します。また目的物の大小または深度に応じ設定を変えて下さい。

＜ ピンポイント探知 ＞

下記の手順で目的物の埋設位置を正確に探知できます：

1. 目的物の "磁性体" に近づくと音が変化すると同時にバーグラフも信号強度に応じ変化し、大体の位置が把握できます。この状態で感度 "GAIN" を最小レベルに設定します。
2. GA-1本体のハンドル部を持ち、オペレータが上下に振ることが出来る位置に本体を持ってきます。
3. 目的物の上を "X パターン" 状を描く様に、前後に本体を移動させます。
4. 信号強度が最大になる位置で、上記 "X パターン" を横切る様に本体を移動させます。

取扱説明書　マグネチックロケータ GA-1



注意　本器を埋設および埋没金属物の探査以外に使用しないで下さい。

注意　本器を使用する場合は周囲の交通状況等に注意して下さい。

注意　本体ケースは防水ではありません。故障の原因となりますので雨天での使用は避けて下さい。

注意　本器は耐衝撃構造ではありません。故障の原因となりますので強い衝撃を与えないで下さい。

注意　本器には棒状のセンサーチューブがついています。大きく振り回して人に当たりますと思わぬ怪我をする場合があります。

取扱い上のご注意

1. 本器のセンサーチューブ部は防水構造のため水の中でも使用できます。但し、本体ケース部は防水になっていないため水中に入れることはできません。
2. センサーチューブ部に金属性のシールやネームプレート等を貼付しないで下さい。
3. 本器を高温の場所に長時間置かないで下さい。
4. 新品の電池と消耗している電池を混合して本器に使用しないで下さい。

探知上のご注意

1. 磁化されない金属（金、銀、銅、アルミニウム、ステンレス等）は探知できません。
   但し、予め永久磁石等の磁気物を対象物に付着して置けば探知できます。
2. 送電線の下では磁界が乱れているため正常な探知操作はできません。
3. 電話・電力等のケーブルは探知できません。
4. センサーチューブを振り回すように使用するとセンサーの磁界バランスが崩れ、探知物と誤認する場合があります。
5. 積雪の中にセンサーチューブを差し込む場合、凍結等で固まっている様な状態の場合は差し込まないで下さい。
6. 本器に無理な力を加える状態では使用しないで下さい。

保管上のご注意

1. 高温、多湿の場所には保管しないで下さい。
2. 乾電池は外して下さい。
   長時間取り付けたままにしておきますと液漏れして機器を破損する場合があります。

電池交換

電源部の底のネジを外します。**"9-V アルカリ電池" を2本**使用します。**操作が停止**したり**警告音**が鳴った場合は電源を直ちに切り、新しい電池と交換して下さい。必ず**2本まとめて新しい電池と交換**し、1本のみの交換はしない様にして下さい。交換時はバッテリケースに刻印されている〈+〉〈ー〉の表示を確認し、極性を間違えない様にして下さい。

※必ずアルカリ電池をご使用下さい。

仕　様

探知深度	探知物の磁化された度合による
センサ設置間距離	457mm
使用時間	断続使用で24時間
動作温度	−10℃〜50℃
電源	006P(9V)×2(アルカリ電池)
寸法	994(L)×86(W)×111(H)mm
重量	1.08kg
付属物	収納ケース

保証期間

「保証書」はお買い上げ日より1年間です。保証期間内に機器の機能上に不具合を生じた場合は無償にて修理させて頂きます。

保証期間外、或いはお客様の原因により破損故障した場合は有償にて修理させて頂きます。その他不具合がありましたら、弊社営業所にご連絡下さい。「保証書」は製造上の欠陥による故障の場合無償修理させていただきますので紛失しないよう大切に保存して下さい。ただし、次のような場合には保証期間でも有料修理となります。

1. お取り扱いの不注意及び誤ったご使用による故障
2. 不当な修理や改造をされた場合
3. 落下などによる故障及び損傷
4. 天災地変による故障及び損傷
5. 保証書のご提示がない場合

管路システムのサポートメーカー
フジテコム株式会社
ISO 9001 認証取得（QM4215）
http://www.fujitecom.co.jp/
本　社　〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2丁目20番地
TEL(03)3862-3196／FAX(03)3866-1979

札　幌　TEL(011)864-9511／FAX(011)864-9507
仙　台　TEL(022)222-2011／FAX(022)261-2497
東　京　TEL(03)3865-2960／FAX(03)3865-2964
信　越　TEL(026)232-3521／FAX(026)232-2197
名古屋　TEL(052)933-4891／FAX(052)933-4894
大　阪　TEL(06)6362-6755／FAX(06)6362-6759
広　島　TEL(082)261-0939／FAX(082)261-0948
九　州　TEL(092)474-3225／FAX(092)474-3894

計装システム課
TEL(048)482-8777／FAX(048)477-4724
テレホン技術サービス
TEL(048)479-0583
技術開発・トレーニングセンター
TEL(048)479-0581／FAX(048)479-0584